

合併契約書中變更箇所

イ、第四條 五拾圓全額拂込濟ノ株式參萬四千五百株トアルヲ參萬四千四百六拾四株ニ、拾貳圓五拾錢拂込ノ株式參拾六萬五千五百株トアルヲ參拾六萬五千五百參拾六株ニ變更

ロ、第五條末尾但書株主洎宗一ノ拋棄株式ハ五拾圓拂込濟拾株、拾貳圓五拾錢拂込濟參拾六株トアルヲ五拾圓拂込濟株式四拾六株ニ變更

ハ、第七條中但書全文ヲ左記ノ通りトス

一但シ其ノ内一部ノ金額ハ積立金トシテ表現セサルコトヲ得ルモノトス

ニ、第十二條中「昭和十八年九月一日」トアルハ「昭和十八年十月十五日」トス

ホ、第十四條中「昭和十八年十月二十五日」トアルハ「昭和十八年十月十二日」トシ又同「昭和十八年十月三十日」トアルハ「昭和十八年十二月十八日」トス

以上

日本銀行

昭和十八年九月二十五日

審査局長

總裁

副總裁

理事

理事

理事

理事

理事

理事

石川島ト三行合併ノ件

十月十五日 各行夫々ニ於ケル合併承認様式

昭和 年 月 日

會開催

十二月十二日 新館川創立總會

同 十八日 合併定り

右通り決定、旨金澤支店長ヨリ電話アリ

夕リ

以上

昭和 年 月 日







之同者之認可申請、意向、由之候

而企業經營者之関心、更生金庫、買入分付、其代  
金、其向、諸、若、之、農工銀行、特殊、金、多、之、  
ト、之、統制、令、方針、之、由、之、候、也、之、同、之、地、方、銀、行、  
善、面、銀、行、之、深、刻、之、苦、惱、之、訴、之、所、在、現、在、如、之、同、  
金、庫、價、格、之、決、定、指、之、諸、銀、行、中、之、存、之、也、之、  
限、之、業、者、之、諸、銀、行、之、俾、之、以、之、依、令、地、方、銀、行、之、善、面、  
銀、行、之、之、特、殊、金、之、得、得、之、也、之、得、之、建、前、之、指、導、  
方針、于、更、更、之、之、問、題、解、決、之、之、難、カ、ト、思、科、  
比、也

先考不取取此種考加得考考申到如斯也  
年月

昭和十八年九月三十日

金澤支店長



付設局査考

18.10.4.

第1009號

局

長

考査局長殿

課長

石川縣所在加能合同、加州、能和ノ三銀行ニ於テハ合併ニ關スル日程並合併契約ノ一部變更ノ件ニ付キ大藏省ノ諒解ヲ得、來月十五日夫々臨時株主總會ヲ開催合併契約書承認ノ件其他ヲ附議致スコト、相成本日附ヲ以テ別紙ノ通り株主招集通知狀ヲ發送致候

尙加州銀行ハ今回ノ合併ヲ機會ニ今期年一分ノ増配ヲ行フコトニ大藏省ノ承認ヲ得タル趣ニ有之候一同行カ昭和十六年下期二十五周年記念トシテ年一分増配願出テ不許可トナリ其額ヲ積立金トシテ計上シ來リ

シ分ハ交付金ニ繰入ル、由  
右御報告申上候也



二  
四

昭和十八年十月十五日

金澤支店長

印

検査局  
18.10.15  
第107號

局長

検査局長殿

課長

石川縣下加能合同、加州、能和ノ三銀行ニ於テハ本日臨時株主總會ヲ開  
催シ合併契約書承認、設立委員選任其他ノ件ヲ附議異議ナク可決、設立  
委員ハ左記ノ通り決定致候間此段御報告申上候也

記

加能合同銀行

取締役頭取

米谷半平

常務取締役

山上喜之松

加州銀行

取締役頭取

丸川賢二

專務取締役

福井弘一

能和銀行

取締役頭取

泊宗一

常務取締役

寺本松次郎

以上

金澤支店大系次長ヨリ電話

(十月十日 八時)

上野中ノ金澤支店  
ヨリ電話(四時)



一 本日北國銀行ノ設立委員會南催ノ結

果加能合同ノ本店ハ狭キニ付、本店ヲ本

部ト營業所ニ分ケテハ如何トノ話出テタルガ、

外 登記上何シヲ本店トスベキカハ内題トナリソレヲ

昭和  
十月  
五日

月 日



研究ノ上ニテ決定スベキコトナレリ。

一、設立委員長ノ向題

本日ノ委員會ニハ全然話出デザリシモ、能

和ノ泊頭取ガ本日委員會前ニ加州側ニ

赴キ内意ヲ訊キ見所、加州側ノ話ニテハ、

自分ノ方ハ本店ハ取ラレルシ、頭取モ取ラレルニ付

昭和 年 月 日

立場は無クナル。加州丸川頭取ヲ委員長

トシテハ如何トシ意見ヲ決シ居ル。泊氏

ハ意見ヲ述バズ話ヲ聞クダケニ止メテ来タ

委員会ニテモ全然委員長向題ノ話ガ出ナカッタ。

尚、泊氏が大系次長ニ話シテ所ニヨシバ九

川ハ大阪ニシテ居ル故、泊氏トシテハ丸川ノ

昭和 年 月 日

委員長ニハ謹成デナイ意向ノ模範ナリ。

又、泊氏が大系次長ニ、全然自分ノ意見ガテ

トシテ話シタ所ニヨレバ私案トシテ

第一案 委員長 兼 谷

設立ノ場所 加州

了却局長 兼 系

昭和 年 月 日



第二案 委員長

泊

役員事務所

加能合同

子孫局長

藤原

尚、第三案マアリク様ナリ。結局委員長ハ

設ケナシテ行クヤウナコトニナリハシナイカト泊氏

ハ話し居リタリ。

昭和 年 月 日

一、酒、山、上、福、井、一、三、人、今、晚、出、發、明、日

大、藏、省、出、頭、換、粉、膏、報、告、等、件。

以  
上

昭和  
年  
月  
日

001911

第十一條 當銀行ノ株式ニ付質權ニ關スル登錄又ハ其ノ抹消ヲ請求セントスルトキハ當銀行所定ノ請  
求書ニ質權設定者及質權者記名捺印ノ上株券ヲ添ヘテ當銀行ニ差出スヘシ  
キ書面ヲ添付スヘシ

昭和十八年十一月二十七日

金澤支店長

局長

課長

一 考查局長殿

石川縣下加能合同、加州、能和ノ三行合併ニ因ル北國銀行創立總會ハ  
來月十二日開催ノコト、相成本日附ヲ以テ別紙ノ通り株主ニ對シ招集  
通知狀ヲ發送致候間此段御報告申上候也

376





# 株式會社北國銀行定款

## 第一章 總則

第一條 當銀行ハ株式會社北國銀行ト稱ス

第二條 當銀行ハ左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

- 一、普通銀行業務
- 一、貯蓄銀行業務
- 一、信託業務

一、前各號ニ附隨スル業務

第三條 當銀行ハ本店ヲ金澤市ニ置キ支店ヲ左ノ地ニ設置ス

金澤市 (十六箇所) 七尾市 (三箇所)

石川縣江沼郡大聖寺町 (二箇所) 石川縣江沼郡山中町

石川縣江沼郡山代町 石川縣江沼郡片山津町

石川縣能美郡寺井野町 (二箇所) 石川縣能美郡山上村

石川縣石川郡鶴來町 石川縣石川郡美川町 (二箇所)

石川縣石川郡野々市町 石川縣石川郡金石町

石川縣河北郡津幡町 (二箇所) 石川縣河北郡宇ノ氣村

石川縣河北郡高松町 石川縣羽咋郡志雄町

石川縣羽咋郡高濱町 (二箇所) 石川縣羽咋郡富來町 (二箇所)

石川縣鹿島郡能登部町 石川縣鹿島郡越路町

石川縣鹿島郡中島村 石川縣鹿島郡穴水町

石川縣鳳至郡門前町 石川縣鳳至郡輪島町 (二箇所)

石川縣鳳至郡宇出津町 (二箇所) 石川縣鳳至郡野町

石川縣珠洲郡木郎村 石川縣珠洲郡寶立町

石川縣珠洲郡西海村 大坂市

第四條 當銀行ノ公告ハ金澤市ニ於ケル北國新聞社ノ發行スル北國毎日新聞ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第五條 當銀行ノ存立期間ハ會社成立ノ日ヨリ貳拾個年トス

## 第二章 資本及株式

第六條 當銀行ノ資本ハ金貳千萬元トシ之ヲ四拾萬股ニ分ケ每股金五十圓トス

第七條 當銀行株式第二回以後ノ拂込金額、期日及方法等ハ取締役會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第八條 株金ノ拂込ヲ遲滞シタル株主ハ拂込期日ノ翌日ヨリ拂込ヲ爲シタル日迄金壹百圓ニ付當日金四錢ノ割合ヲ以テ遲延利息及之ニ要シタル費用ヲ支拂フモノトス

第九條 當銀行ノ株式ハ記名式トシ壹株券、五株券、拾株券、五拾株券及百株券ノ五種トス

第十條 當銀行ノ株式ヲ讓受ケタル者名義書換ヲ爲サントスルトキハ當銀行所定ノ請求書ニ株券ヲ添ヘテ當銀行ニ差出スベシ

讓渡力株券ノ裏書ニ依ルモノナルトキハ讓受人、又株券ノ裏書ニ依ラザルモノナルトキハ讓渡人及讓受人ノ記名捺印ヲ要スルモノトス

讓渡以外ノ事由ニ依リ名義書換ヲ爲サントスルトキハ前項ニ準ジ手續ヲ爲シ且取得ノ原因ヲ證スベキ書面ヲ添付スベシ

第十一條 當銀行ノ株式ニ付質權ニ關スル登錄又ハ其ノ抹消ヲ請求セントスルトキハ當銀行所定ノ請求書ニ質權設定者及質權者記名捺印ヲ上株券ヲ添ヘテ當銀行ニ差出スベシ

1919000

添へテ當銀行ニ差出スベシ

讓渡力株券ノ裏書ニ依ルモノナルトキハ讓受人、又株券ノ裏書ニ依ラザルモノナルトキハ讓渡人及讓受人ノ記名捺印ヲ要スルモノトス

キ書面ヲ添付スベシ  
第十一條 當銀行ノ株式ニ付債權ニ關スル登錄又ハ其ノ抹消ヲ請求セントスルトキハ當銀行所定ノ請求書ニ債權設定者及債權者記名捺印ノ上株券ヲ添へテ當銀行ニ差出スベシ

但シ抹消ノ請求ニ當リテハ債權者ノ記名捺印ニ代ヘ債權ノ消滅ヲ證スル書面ヲ以テスルコトヲ得轉買又ハ債權移轉ノ登錄ノ請求ニ關シテハ前項ノ規定ヲ準用ス

但シ債權移轉ノ場合ニ在リテハ其ノ原因又ハ對抗要件ノ具備ヲ證スル書面ヲ添付スヘキモノトス第十二條 當銀行ノ株式ニ付信託法ニ依ル信託財産ノ表示又ハ其ノ抹消ヲ請求セントスルトキハ當銀行所定ノ請求書ニ株券ヲ添へテ當銀行ニ差出スベシ

第十三條 株券ノ喪失ニ因リ新券ノ交付ヲ請求セントスルトキハ當銀行所定ノ請求書ニ除權判決ノ正本又ハ謄本ヲ添へテ當銀行ニ差出スベシ

第十四條 株券ノ分合又ハ汚損ニ因リ新券ノ交付ヲ請求セントスルトキハ當銀行所定ノ請求書ニ株券ヲ添へテ當銀行ニ差出スベシ

第十五條 株式ノ名義書換、質權ニ關スル登錄及其ノ抹消、信託財産ノ表示及其ノ抹消ノ場合ニハ株券登通ニ付金拾錢、新券交付ノ場合ニハ新券登通ニ付金五拾錢ノ手数料ヲ徴收ス

第十六條 株式ノ名義書換、質權ニ關スル登錄及其ノ抹消、信託財産ノ表示及其ノ抹消ハ每期決算期ノ翌日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄之ヲ停止ス

前項ノ外必要アルトキハ取締役會ノ決議ニ依リ豫メ相當ノ期間ヲ定メ公告ノ上停止スルコトアルヘシ

第十七條 株主、登錄シタル質權者又ハ其ノ法定代理人若クハ代表者ハ其ノ氏名住所及印鑑ヲ當銀行ニ届出ツヘシ之カ變更ノ場合亦同シ

前項ノ者外國ニ居住スルトキハ帝國内ニ假住所又ハ代理人ヲ定メ之ヲ届出ツヘシ之カ變更ノ場合亦同シ

前二項ノ届出ヲ怠リタル者ニ對シテハ通知ノ責ニ任セス

當銀行ニ對シ提出スル書類及株券ノ裏書等ニハ總テ本條届出ノ印鑑ヲ押捺スベシ

### 第三章 株主總會

第十八條 定時株主總會ハ毎年四月及十月ニ之ヲ開キ臨時株主總會ハ必要ノ場合ニ之ヲ開ク

第十九條 株主總會ハ頭取之ヲ招集ス

第二十條 株主總會ノ議長ハ頭取之ニ當リ頭取事故アルトキハ取締役會ニ於テ豫メ定メタル順序ニ依リ他ノ取締役之ニ代ル

第二十一條 總會ノ決議ハ法令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除キ出席シタル株主議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス可同數ノ場合ハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條 株主ハ株主總會ニ於テ他ノ出席株主ニ委任シ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

第二十三條 株主總會ノ議事ニ付テハ議事録ヲ作り議長並ニ出席シタル取締役及監査役記名捺印ノ上之ヲ保存ス

### 第四章 役員

第二十四條 當銀行ハ取締役十七名以内監査役三名以内ヲ置ク

第二十五條 取締役、監査役ハ二百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二十六條 取締役ノ任期ハ就任後第六回、監査役ノ任期ハ就任後第四回ノ定時株主總會終結ノ時ヲ以テ満了ス

補缺又ハ増員ニ依リ選任セラレタル取締役及監査役ノ任期ハ現任者ノ任期満了期間トス

第二十七條 取締役及監査役ニ缺員ヲ生スルモ法定ノ數ヲ缺カザルトキハ補缺選舉ヲ行ハザルコトヲ得

第二十四條 當銀行ハ取締役十七名以内監査役三名以内ヲ置ク  
第二十五條 取締役、監査役ハ二百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス  
第二十六條 取締役ノ任期ハ就任後第六回、監査役ノ任期ハ就任後第四回ノ定時株主總會終結ノ時ヲ以テ滿了ス

補缺又ハ増員ニ依リ選任セラレタル取締役及監査役ノ任期ハ現任者ノ任期殘存期間トス

第二十七條 取締役及監査役ニ缺員ヲ生スルモ法定ノ數ヲ缺カザルトキハ補缺選舉ヲ行ハザルコトヲ得

第二十八條 取締役ハ互選ヲ以テ頭取一名事務取締役一名常務取締役若干名ヲ選任ス

取締役ハ必要アルトキハ互選ヲ以テ取締役會長一名又ハ副頭取一名ヲ選任スルコトヲ得  
取締役ハ互選ヲ以テ取締役中ヨリ當行ヲ代表スベキ者若干名ヲ定ム

第二十九條 當銀行ノ業務ノ方針其ノ他重要ナル事項ハ取締役會ニ於テ之ヲ定ム

第三十條 取締役會長ハ取締役會ヲ召集司裁ス取締役會長ヲ置カザルトキ又ハ取締役會長事故アルトキハ取締役會ニ於テ豫メ定メタル順序ニ依リ他ノ取締役之ニ代ル

第三十一條 取締役會ハ取締役ノ半數以上出席スルニ非ラザレバ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十二條 取締役會ノ決議ハ出席取締役ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

第三十三條 頭取ハ取締役會ノ決議ヲ執行シ行務ヲ總轄ス

第三十四條 副頭取及事務取締役ハ頭取ヲ輔佐シテ行務ヲ執行シ頭取事故アルトキハ順次之ヲ代理ス

第三十五條 常務取締役ハ頭取、副頭取及事務取締役ノ職務ヲ輔佐ス

第三十六條 取締役ハ自己所有ノ當銀行株券二百株ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス  
取締役退任ノ場合前項ノ株券ハ株主總會ニ於テ其ノ期ニ屬スル決算ヲ承認シタル後ニ非ラザレハ之ヲ返還セズ

第三十七條 監査役ハ取締役會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得

監査役ハ互選ニ依リ常任監査役若干名ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條 取締役ハ取締役會ノ承認ヲ得タルトキハ他ノ銀行又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員若クハ取締役トナルコトヲ得

第五章 計 算

第三十九條 當銀行ノ決算期ハ毎年三月三十一日及九月三十日ノ兩度トス

第四十條 當銀行ノ利益金ハ每期左ノ通處分ス

一、法定準備金 純益金ノ百分ノ拾以上

二、退職給與基金 若干

三、株主配當金 若干

四、役員賞與金 純益金ノ百分ノ五以内

五、前各號ノ金額ヲ引去リタル殘額ヲ別途準備金及後期繰越金其ノ他ニ充當ス

第四十一條 株主配當金ハ毎期末日現在ノ株主若クハ登録シタル質權者ニ支拂フモノトス

附 則

第四十二條 當會社設立委員ノ氏名住所左ノ如シ

株式會社加能合同銀行ノ選任シタル設立委員

石川縣小松市安宅町ヲ百貳拾八番地

石川縣小松市八日市町七拾貳番地

株式會社加州銀行ノ選任シタル設立委員

兵庫縣芦屋市芦屋字刈屋貳百七拾壹番地ノ貳

石川縣金澤市味喰藏町裏丁貳拾番地ノ壹

株式會社能和銀行ノ選任シタル設立委員

石川縣鳳至郡兜村字甲ヲ百參拾七番地

米 谷 牛 平  
山 上 喜 之 松

丸 川 賢 二

福 井 弘 一

泊 宗 一

(377)



第三十六條 取締役ノ自己所有ノ株式ハ其ノ職務ニ關シテ行使スルコトヲ得  
取締役に選任ノ場合前項ノ株券ハ株主總會ニ於テ其ノ期ニ屬スル決算ヲ承認シタル後ニ非ラザレハ之  
ヲ返還セズ

第三十七條 監査役ハ取締役會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得  
監査役ハ五選ニ依リ常任監査役若干名ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條 取締役ハ取締役會ノ承認ヲ得タルトキハ他ノ銀行又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無  
限責任社員若クハ取締役トナルコトヲ得

第五章 計 算

第三十九條 當銀行ノ決算期ハ毎年三月三十一日及九月三十日ノ兩度トス

第四十條 當銀行ノ利益金ハ每期左ノ通處分ス

- 一、法定準備金 純益金ノ百分ノ拾以上
  - 二、退職給與基金 若 干
  - 三、株主配當金 若 干
  - 四、役員賞與金 純益金ノ百分ノ五以内
  - 五、前各號ノ金額ヲ引去リタル殘額ヲ別途準備金及後期繰越金其ノ他ニ充當ス
- 第四十一條 株主配當金ハ毎期末日現在ノ株主若クハ登録シタル質權者ニ支拂フモノトス

附 則

第四十二條 當會社設立委員ノ氏名住所左ノ如シ

株式會社加能合同銀行ノ選任シタル設立委員

石川縣小松市安宅町ヲ百貳拾八番地

石川縣小松市八日市町七拾貳番地

株式會社加州銀行ノ選任シタル設立委員

兵庫縣芦屋市芦屋字刈屋貳百七拾壹番地ノ貳

石川縣金澤市味喰藏町裏丁貳拾番地ノ壹

株式會社能和銀行ノ選任シタル設立委員

石川縣鳳至郡兜村字甲リ百參拾七番地

石川縣七尾市宇府中イ部參拾五番地

右株式會社北國銀行設立ノ爲メ本定款ヲ作成シ設立委員左ニ記名捺印ス

昭和拾八年拾壹月貳拾貳日

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 米 | 山 | 丸 | 福 | 泊 | 寺 |
| 谷 | 上 | 川 | 井 | 本 | 本 |
| 半 | 喜 | 賢 | 弘 | 宗 | 松 |
| 平 | 之 | 二 | 一 | 次 | 郎 |
| 平 | 松 | 松 | 一 | 次 | 郎 |
| 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 |

(577)



拜啓 益々御清祥ノ段奉賀候

陳者來ル十二月十二日午後二時金澤市下堤町壹番地株式會社加州銀行本店ニ於テ株式會社加能合同銀行、株式會社加州銀行、株式會社能和銀行合併ニ因ル株式會社北國銀行創立總會ヲ開催シ左記事項ヲ附議可致候間何卒御繰合御出席被成下度此段御通知申上候 敬具

追而 本總會ニハ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主御出席ノ上御決議ヲ要スルコト、相成居候ニ付當日御出席相成難キ場合ハ乍御手数數別紙委任狀ニ御記名御調印ノ上折返シ御送付被下度御依頼申上候

### 會議ノ目的タル事項

第一號議案 株式會社北國銀行創立ニ關スル事項報告ノ件

第二號議案 定款承認ノ件（裏面記載）

第三號議案 取締役及監査役選任ノ件

第一號議案 株式會社北國銀行創立ニ關スル事項報告ノ件

第二號議案 定款承認ノ件 (裏面記載)

第三號議案 取締役及監査役選任ノ件

第四號議案 取締役及監査役ノ調査報告ノ件

第五號議案 取締役及監査役ノ報酬額決定ノ件

第六號議案 本店及支店位置決定ノ件

以上

昭和拾八年拾壹月貳拾七日

石川縣金澤市下堤町一番地(設立事務所)

株式會社 北國銀行

設立委員 米谷半平

同 山上喜之松

同 丸川賢二

同 福井弘一

同 泊宗一

同 寺本松次郎

28)

原書不良

株主各位

石川縣金澤市下堤町一番地(設立事務所)

株式會社 北國銀行

設立委員 米谷半平

同 山上喜之松

同 丸川賢二

同 福井弘一

同 泊宗一

同 寺本松次郎

(乍恐縮御出席ノ際ハ本狀封皮ヲ受付(御差出被下度候)

(878)



合併契約書

株式會社加能合同銀行(以下甲ト稱ス)株式會社加州銀行(以下乙ト稱ス)及株式會社能和銀行(以下丙ト稱ス)ハ合併ノ爲左ノ契約ヲ締結ス

第一條 甲、乙及丙ハ合併ニ因リ解散シ新銀行ヲ設立スルモノトス

第二條 新銀行ノ目的、商號、資本ノ總額、一株ノ金額及本店ノ所在地ハ左ノ通りトス

一、目的 普通銀行業務貯蓄銀行業務並此等ニ附隨スル業務ヲ營ムコト

二、商號 株式會社北國銀行

三、資本總額 金貳千萬圓

四、一株ノ金額 金五拾圓

五、本店ノ所在地 金澤市

第三條 甲ノ本店ハ之ヲ新銀行ノ本店ト爲シ甲ノ支店、出張所、乙ノ本店、支店、出張所、丙ノ本店、支店、出張所ハ原則トシテ夫々之ヲ新銀行ノ支店、出張所ト爲

第四條 新銀行ハ壹株額面金五拾圓全額拂込済ノ記名株式參萬四千四百六拾四株、一株ノ額面金五拾圓内拾貳圓五拾錢拂込済ノ記名株式參拾六萬五千五百參拾六株ヲ發行スルモノトス

第五條 前條ノ株式ハ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ各株主ニ對シ左ノ割合ヲ以テ交付スルモノトス

一、甲ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株

二、乙ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株及新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

三、丙ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾七圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式參株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾八圓拂込済株式貳拾五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式五拾六株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾五圓拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式八株

丙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株但シ新銀行ヨリ交付ヲ受クベキ株式ノ内額面金五拾圓全額拂込済株式四拾六株ニ對シテハ丙ノ株主泊宗ニ於テ株式ノ交付ヲ受クル權利ヲ拋棄スルモノトス

合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受クルノ外昭和十八年十月一日以降合併實行前日迄ノ期間ニ付年六分ノ割合ヲ以テ算出

第六條

第六條

第六條

第六條

金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株  
丙ノ額面金五拾圓内金貳拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金  
拾貳圓五拾錢拂込済株式八株  
丙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾  
圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株但シ新銀行ヨリ交付ヲ受クベキ株式ノ内額  
面金五拾圓全額拂込済株式四拾六株ニ對シテハ丙ノ株主泊宗一ニ於テ株式ノ交  
付ヲ受クル權利ヲ拋棄スルモノトス

第六條 合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受クルノ  
外昭和十八年十月一日以降合併實行前日迄ノ期間ニ付年六分ノ割合ヲ以テ算出  
シタル株式配當金ニ相當スル金額ノ交付ヲ受クルモノトス

第七條 甲、乙及丙ハ第五條ニ依リ各株主ニ對當テラシタル新銀行ノ株式拂込金額ノ八  
割ニ相當スル金額ヲ新銀行ノ積立金トシテ持寄ルモノトス但シ其ノ内一部ノ金  
額ハ積立金トシテ表現セザルコトヲ得ルモノトス

第八條 甲、乙及丙ハ昭和十八年四月七日現在ノ日計表ニ基キ本合併契約ヲ締結シタ  
ルモノニシテ同日以降合併實行日迄ニ於ケル資産負債及損益ノ異動ハ別ニ計算  
書其ノ他適當ナル方法ヲ以テ明確ナラシメ相互ニ之ヲ報告スルモノトス

第九條 甲、乙及丙ハ各其ノ資産中ヨリ預リ金借入金其他外部ニ對スル負債額株主ニ割  
當テタル新銀行株式ノ拂込金額第七條ノ持寄積立金額、第六條ノ交付金額、役  
員使用人退職慰勞金及解散費用ノ合計額ニ對應スル資産ヲ控除シタル殘額ハ之  
ヲ除外財産トシテ合併實行後滿二ケ年內第十條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀  
行ニ留保シ各銀行別ニ之ガ整理ヲ爲スモノトス

第十條 甲、乙及丙ハ新銀行ニ引繼キタル資産負債中合併實行後二ケ年以内ニ於テ隠レ  
タル瑕疵ノ發見ニ因リ生シタル損害ニ對シテハ夫々第九條ニ定ムル除外財産ノ  
内ヲ以テ之ガ補填ニ充當シ尙不足ヲ生シタルトキハ本合併契約締結當時ニ於ケ  
ル各銀行取締役及監査役ハ夫々當該銀行分ニ對シ個人ノ資格ニ於テ連帶シテ之  
ガ辨償ノ責ニ任スルモノトス

第十一條 第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有  
スルトキハ之ヲ株主交付金トシテ合併實行滿二ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得  
各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ株主ニ對シ夫々ノ拂込金額ニ應ジ  
分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ引繼貸出金額ノ五  
厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當  
該銀行ハ右ノ期間ニ不恰合併實行滿一ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ガ分配  
ヲ爲スコトヲ得

第十二條 前項ニ依リ留保スル資産ハ新銀行ニ於テ優良ト認メタルモノニ限ル  
第十三條 甲、乙及丙ハ昭和十八年十月十五日午後壹時ニ臨時株主總會ヲ開催シ本契約ノ  
承認、設立委員ノ選任其ノ他本合併ニ必要ナル決議ヲ爲スモノトス

第十四條 新銀行ノ設立委員ハ六名トシ甲、乙及丙ノ株主ヨリ各二名宛之ヲ選出スルモノ  
トス  
設立委員ハ共同シテ新銀行ノ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ヲ爲スベキモ  
ノトス

第十五條 新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ  
以テ合併實行日トス

第十六條 第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムラ得サル事情發生シタルトキハ甲、  
乙及丙代表者ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經之レテ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十七條 甲、乙及丙ノ行員其ノ他ノ使用人ハ新銀行ニ於テ原則トシテ新規採用ノ方法ニ  
依リ引繼グモノトス

第十八條 甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行  
スルハ勿論他ト新ニ義務ノミヲ負フヘキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響  
ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費其他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互  
ニ承認ヲ求ムルモノトス

第十九條 本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコト  
ニ依リ其ノ効力ヲ生スルモノトス

(280)

第十一條

第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有スルトキハ之ヲ株主交付金ニシテ合併實行滿二ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ株主ニ對シ夫々拂込金額ニ應ジ分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ引繼貸出金額ノ五厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當該銀行ハ右ノ期間ニ不稱合併實行滿一ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ガ分配ヲ爲スコトヲ得

第十二條

前項ニ依リ留保スル資産ハ新銀行ニ於テ優良ト認メタルモノニ限ル

第十三條

甲、乙及丙ハ昭和十八年十月十五日午後壹時ニ臨時株主總會ヲ開催シ本契約ノ承認、設立委員ノ選任其ノ他本合併ニ必要ナル決議ヲ爲スモノトス

第十四條

新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ以テ合併實行日トス

第十五條

第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムヲ得サル事情發生シタルトキハ甲、乙及丙代表者ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經之レテ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十六條

甲、乙及丙ノ行員其ノ他ノ使用人ハ新銀行ニ於テ原則トシテ新規採用ノ方法ニ依リ引繼グモノトス

第十七條

甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行スルハ勿論他ト新ニ義務ノミヲ負フヘキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費其他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互ニ承認ヲ求ムルモノトス

第十八條

本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコトニ依リ其ノ効力ヲ生スルモノトス但シ合併ニ付必要ナル大藏大臣ノ認可ヲ受クルコト能ハサルトキハ本契約ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第十九條

甲、乙丙例レカガ本契約締結後合併實行日迄ニ本契約ノ各條項ニ違背シ又ハ天災、不可抗力其ノ他ノ事由ニ因リ甲、乙又ハ丙ノ財産ニ著シキ變動ヲ生シタルトキハ各當事者ハ大藏省ノ承認ヲ經テ本契約ヲ解除シ又ハ合併條件ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

第二十條

合併遂行ニ必要ナル事項ニシテ本契約ニ規定ナキモノハ合併ノ趣旨ニ反セサル限リ甲、乙及丙ノ各代表者ニ於テ之ヲ協定スルコトヲ得ルモノトス

右條項ヲ契約シタル證トシテ本書參通ヲ作成シ各自其ノ壹通ヲ保有ス

昭和拾八年七月參拾壹日

株式會社加能合同銀行  
 取締役頭取 米 谷 半 平 印  
 株式會社加州銀行  
 專務取締役 福 井 弘 一 印  
 株式會社能和銀行  
 取締役頭取 泊 宗 一 印

(280)



拜啓益々御清祥之段奉賀候  
陳者來ル十月十五日午後一時七尾市生駒町參  
拾番地大谷派本願寺七尾教務所内濟美館ニ於  
テ臨時株主總會及商法ノ規定ニ據ル特種株主  
總會ヲ開催左記事項御決議相願度候間御出席  
被成下度此段御通知申上候

昭和十八年九月三十日

石川縣七尾市宇府中町拾番地ノ貳

株式會社 能 和 銀行

取締役頭取 泊 宗 一

## 株 主 殿

追 而

臨時株主總會ノ決議ハ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主ノ出席ヲ要シ  
特種株主總會ノ決議ハ各種拂込別總株主ノ半數以上ニシテ各種拂込別總株數ノ半數以上  
ニ當ル株主ノ御決議ヲ要シ候ニ付當日御出席相成兼テ候ハバ同封委任狀用紙ニ御記名御  
捺印(豫テ御届出印章御使用ノコト)ノ上御送付被下度然ル上ハ出席株主中へ代理委任方  
取計ヒ可申候間特ニ御願申上候

記

### 一、臨時株主總會

會議ノ目的タル事項

ニ當ル株主ノ御決議ヲ要シ候ニ付當日御出席相成候ニ付同封委任狀用紙ニ御署名御捺印(豫テ御届出印章御使用ノコト)ノ上御送付被下度然ル上ハ出席株主中へ代理委任方取計ヒ可申候間特ニ御願申上候

記

一、臨時株主總會

會議ノ目的タル事項

第壹號議案

昭和十八年七月三十一日株式會社加能合同銀行並ニ株式會社加州銀行ト當行間ニ締結セラル合併契約書承認ノ件

第貳號議案

合併ニ因リ新銀行設立委員二名選任ノ件

第參號議案

合併ニ際シ役員及ビ使用人ニ對スル退職慰勞金並ニ解散ニ關スル費用支出ノ件

第四號議案

合併ノ爲メ解散スルニ付獻金等寄付行爲ヲ爲スノ件

第五號議案

合併ニ關スル一切ノ事項ヲ取締役會ニ一任ノ件

二、特種株主總會 臨時株主總會終了後

一、全額拂込済株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時二十分

當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法承認ノ件

二、一株ニ付金參拾七圓五拾錢拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時三十五分

當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法承認ノ件

三、一株ニ付金參拾圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時四十五分

當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法承認ノ件

四、一株ニ付金貳拾八圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時五十五分

當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法承認ノ件

五、一株ニ付金貳拾五圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後三時五分

當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法承認ノ件

六、一株ニ付金貳拾圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後三時五分

(079)

二、特種株主總會 臨時株主總會終了後

一、全額拂込済株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日午後二時二十分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

二、一株ニ付金參拾七圓五拾錢拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日午後二時三十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

三、一株ニ付金參拾圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日午後二時四十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

四、一株ニ付金貳拾八圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日午後二時五十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

五、一株ニ付金貳拾五圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日午後三時五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

六、一株ニ付金貳拾圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日午後三時十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

七、一株ニ付金拾貳圓五拾錢拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日午後三時二十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

以上

(079)



拜啓益々御清祥之段奉賀候  
陳者來ル十月十五日午後一時七尾市生駒町參  
拾番地大谷派本願寺七尾教務所内濟美館ニ於  
テ臨時株主總會及商法ノ規定ニ據ル特種株主  
總會ヲ開催左記事項御決議相願度候間御出席  
被成下度此段御通知申上候

昭和十八年九月三十日

石川縣七尾市宇府中町拾參番地ノ貳

株式會社 能 和 銀行

取締役頭取 泊 宗 一

## 株 主 殿

追 而

臨時株主總會ノ決議ハ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主ノ出席ヲ要シ  
特種株主總會ノ決議ハ各種拂込別總株主ノ半數以上ニシテ各種拂込別總株數ノ半數以上  
ニ當ル株主ノ御決議ヲ要シ候ニ付當日御出席相成兼テ候ハバ同封委任狀用紙ニ御記名御  
捺印(豫テ御届出印章御使用ノコト)ノ上御送付被下度然ル上ハ出席株主中へ代理委任方  
取計ヒ可申候間特ニ御願申上候

記

一、臨時株主總會

會議ノ目的タル事項

捺印(豫テ御届出印章御使用ノコト)ノ上御送付被下度然ル上ハ出席株主中へ代理委任方  
取計ヒ可申候間特ニ御願申上候

記

一、臨時株主總會

會議ノ目的タル事項

第壹號議案

昭和十八年七月三十一日株式會社加能合同銀行並ニ株式會社加州銀行ト當行間ニ締結セ  
ル合併契約書承認ノ件

第貳號議案

合併ニ因リ新銀行設立委員二名選任ノ件

第參號議案

合併ニ際シ役員及ビ使用人ニ對スル退職慰勞金並ニ解散ニ關スル費用支出ノ件

第四號議案

合併ノ爲メ解散スルニ付獻金等寄付行爲ヲ爲スノ件

第五號議案

合併ニ關スル一切ノ事項ヲ取締役會ニ一任ノ件

二、特種株主總會

臨時株主總會終了後

一、全額拂込済株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時二十分  
當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

二、一株ニ付金參拾七圓五拾錢拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時三十五分  
當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

三、一株ニ付金參拾圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時四十五分  
當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

四、一株ニ付金貳拾八圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後二時五十五分  
當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

五、一株ニ付金貳拾五圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後三時五分  
當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

六、一株ニ付金貳拾圓拂込株式所有者特種株主總會

議案 昭和拾八年拾月拾五日午後三時十五分  
當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

(079)

二、特種株主總會 臨時株主總會終了後

一、全額拂込済株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日後二時二十分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

二、一株ニ付金參拾七圓五拾錢拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日後二時三十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

三、一株ニ付金參拾圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日後二時四十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

四、一株ニ付金貳拾八圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日後二時五十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

五、一株ニ付金貳拾五圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日後三時五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

六、一株ニ付金貳拾圓拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日後三時十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

七、一株ニ付金拾貳圓五拾錢拂込株式所有者特種株主總會

昭和拾八年拾月拾五日後三時二十五分

議案 當行ト株式會社加能合同銀行及同加州銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付  
方法承認ノ件

以上

(079)



合併契約書

株式會社加能合同銀行(以下甲ト稱ス)株式會社加州銀行(以下乙ト稱ス)及株式會社能和銀行(以下丙ト稱ス)ハ合併ノ爲左ノ契約ヲ締結ス

第一條 甲、乙及丙ハ合併ニ因リ解散シ新銀行ヲ設立スルモノトス

第二條 新銀行ノ目的、商號、資本ノ總額、一株ノ金額及本店ノ所在地ハ左ノ通りトス  
一、目的 普通銀行業務貯蓄銀行業務此等ニ附随スル業務ヲ營ムコト  
株式會社北國銀行

二、商號 株式會社北國銀行  
三、資本總額 金貳千萬元  
四、一株ノ金額 金五拾圓

五、本店ノ所在地 金澤市  
第三條 甲ノ本店ハ之ヲ新銀行ノ本店ト爲シ甲ノ支店、出張所、乙ノ本店、支店、出張所、丙ノ本店、支店、出張所ハ原則トシテ夫々之ヲ新銀行ノ支店、出張所ト爲スモノトス

第四條 新銀行ハ壹株額面金五拾圓全額拂込済ノ記名株式參萬四千四百六拾四株、一株ノ額面金五拾圓内拾貳圓五拾錢拂込済ノ記名株式參拾六萬五千五百參拾六株ヲ發行スルモノトス

第五條 前條ノ株式ハ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ各株主ニ對シ左ノ割合ヲ以テ交付スルモノトス

一、甲ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株

二、乙ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株及新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

乙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式參株

三、丙ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾七圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式參株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳拾五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳拾五株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾八圓拂込済株式貳拾五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式五拾六株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾五圓拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式八株

丙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株但シ新銀行ヨリ交付ヲ受クベキ株式ノ内額面金五拾圓全額拂込済株式四拾六株ニ對シテハ丙ノ株主泊宗一ニ於テ株式ノ交付ヲ受クル權利ヲ拋棄スルモノトス

第六條 合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受クルノ外昭和十八年十月一日以降合併實行前日迄ノ期間ニ付年六分ノ割合ノ以テ算出

第六條 合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受ケルノ外昭和十八年十月一日以降合併實行前日迄ノ期間ニ付年六分ノ割合ヲ以テ算出シタル株式配當金ニ相當スル金額ノ交付ヲ受ケルモノトス

第七條 甲、乙及丙ハ第五條ニ依リ各株主ニ對當テラレタル新銀行ノ株式拂込金額ノ八割ニ相當スル金額ヲ新銀行ノ積立金トシテ持寄ルモノトス但シ其ノ内一部ノ金額ハ積立金トシテ表現セサルコトヲ得ルモノトス

第八條 甲、乙及丙ハ各昭和十八年四月七日現在ノ日計表ニ基キ本合併契約ヲ締結シタルモノニシテ同日以降合併實行日迄ニ於ケル資産負債及損益ノ異動ハ別ニ計算書其ノ他適當ナル方法ヲ以テ明確ナラシメ相互ニ之ヲ報告スルモノトス

第九條 甲、乙及丙ハ各其ノ資産中ヨリ預リ金借入金其他外部ニ對スル負債額株主ニ對當テタル新銀行株式ノ拂込金額第七條ノ持寄積立金額、第六條ノ交付金額、役員使用人退職慰勞金及解散費用ノ合計額ニ對應スル資産ヲ控除シタル殘額ハ之ヲ除外財産トシテ合併實行後滿二ケ年間第十條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保シ各銀行別ニ之ガ整理ヲ爲スモノトス

第十條 甲、乙及丙ハ新銀行ニ引繼キタル資産負債中合併實行後二ケ年以内ニ於テ隠レタル瑕疵ノ發見ニ因リ生シタル損害ニ對シテハ夫々第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ之ガ補填ニ充當シ尙不足ラ生シタルキハ本合併契約締結當時ニ於ケル各銀行取締役及監査役ハ夫々當該銀行分ニ對シ個人ノ資格ニ於テ連帶シラ之ガ賠償ノ責任ヲ負フモノトス

第十一條 第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有スルトキハ之ヲ株主交付金トシテ合併實行滿二ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ株主ニ對シ夫々ノ拂込金額ニ應ジ分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ引繼貸出金額ノ五厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當該銀行ハ右ノ期間ニ不都合合併實行滿一ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ガ分配ヲ爲スコトヲ得

第十二條 前項ニ依リ留保スル資産ハ新銀行ニ於テ優良ト認メタルモノニ限ル

第十三條 甲、乙及丙ハ昭和十八年十月十五日午後壹時ニ臨時株主總會ヲ開催シ本契約ノ承認、設立委員ノ選任其ノ他本合併ニ必要ナル決議ヲ爲スモノトス

第十四條 新銀行ノ設立委員ハ六名トシ甲、乙及丙ノ株主ヨリ各二名宛之ヲ選出スルモノトス

第十五條 設立委員ハ共同シテ新銀行ノ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ヲ爲スベキモノトス

第十六條 新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ以テ合併實行日トス

第十七條 第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムヲ得サル事情發生シタルトキハ甲、乙及丙代表者ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經之レテ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十八條 甲、乙及丙ノ行員其ノ他ノ使用人ハ新銀行ニ於テ原則トシテ新規採用ノ方法ニ依リ引繼グモノトス

第十九條 甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行スルハ勿論他ト新義務ノミヲ負フキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費其他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互ニ承認ヲ求ムルモノトス

第二十條 本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコトニ依リ其ノ効力ヲ生スルモノトス但シ合併ニ付必要ナル大藏大臣ノ認可ヲ受ク

(280)

第十一條

第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有スルトキハ之ヲ株主交付金ニシテ合併實行滿二ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ株主ニ對シ夫々ノ拂込金額ニ應ジ分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ引繼貸出金額ノ五厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當該銀行ハ右ノ期間ニ不恰合併實行滿一ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ガ分配ヲ爲スコトヲ得

第十二條

前項ニ依リ留保スル資産ハ新銀行ニ於テ優良ト認メタルモノニ限ル  
甲、乙及丙ハ昭和十八年十月十五日午後壹時ニ臨時株主總會ヲ開催シ本契約ノ承認、設立委員ノ選任其ノ他本合併ニ必要ナル決議ヲ爲スモノトス

第十三條

新銀行ノ設立委員ハ六名トシ甲、乙及丙ノ株主ヨリ各二名宛之ヲ選出スルモノトス  
設立委員ハ共同シテ新銀行ノ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ヲ爲スベキモノトス

第十四條

新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ以テ合併實行日トス

第十五條

第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムヲ得サル事情發生シタルトキハ甲、乙及丙代表者ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經之レテ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十六條

甲、乙及丙ノ行員其ノ他ノ使用人ハ新銀行ニ於テ原則トシテ新規採用ノ方法ニ依リ引繼グモノトス

第十七條

甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行スルハ勿論他ト新ニ義務ノミヲ負フキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費其他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互ニ承認ヲ求ムルモノトス

第十八條

本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコトニ依リ其ノ効力ヲ生スルモノトス但シ合併ニ付必要ナル大藏大臣ノ認可ヲ受クルコト能ハサルトキハ本契約ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第十九條

甲、乙丙何レカガ本契約締結後合併實行日迄ニ本契約ノ各條項ニ違背シ又ハ天災、不可抗力其ノ他ノ事由ニ因リ甲、乙又ハ丙ノ財産ニ著シキ變動ヲ生シタルトキハ各當事者ハ大藏省ノ承認ヲ經テ本契約ヲ解除シ又ハ合併條件ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

第二十條

合併遂行ニ必要ナル事項ニシテ本契約ニ規定ナキモノハ合併ノ趣旨ニ反セサル限り甲、乙及丙ノ各代表者ニ於テ之ヲ協定スルコトヲ得ルモノトス

右條項ヲ契約シタル證トシテ本書參通ヲ作成シ各自其ノ壹通ヲ保有ス

昭和拾八年七月參拾壹日

- 株式會社加能合同銀行
- 取締役頭取 米谷 半平 印
- 株式會社加州銀行
- 專務取締役 福井 弘一 印
- 株式會社能和銀行
- 取締役頭取 泊 宗一 印

(280)



原書不良

拜啓益々御清祥奉賀候

陳者來ル十月十五日午後一時當銀行本店ニ於  
テ臨時株主總會ヲ開催左記事項御決議相願度  
候間御出席被成下度此段御通知申上候 敬具

昭和十八年九月三十日

利能合能合同銀行

取締役頭取 米谷 宇平

株主各位

追テ本決議ハ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主御出席ノ上御決議ヲ  
要スルコト、相成居候ニ付當日御出席相成難キ場合ハ乍御手数數別紙委任狀ニ御記名御  
調印ノ上總會前日(十月十四日)迄ニ到達致候様折返シ御送付被成下度特ニ御願申上  
候

會議ノ目的タル事項

第一號議案 昭和十八年七月三十一日株式會社加州銀行並ニ株式會

社能利銀行ト當銀行間ニ締結セル合併契約書承認ノ件

001930

株 主 各 位

追テ本決議ハ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主御出席ノ上御決議ヲ要スルコト、相成居候ニ付當日御出席相成難キ場合ハ乍御手数別紙委任狀ニ御記名御調印ノ上總會前日(十月十四日)迄ニ到達致候様折返シ御送付被成下度特ニ御願申上候

會 議 ノ 目 的 タ ル 事 項

第一號議案 昭和十八年七月三十一日株式會社加州銀行並ニ株式會

社能和銀行ト當銀行間ニ締結セル合併契約書承認ノ件

第二號議案 合併ニ因リ新銀行設立委員二名選任ノ件

第三號議案 合併ニ際シ役員及ビ使用人ニ對スル退職慰勞金並ニ解

散ニ關スル費用支出ノ件

第四號議案 合併ノタメ解散スルニ付獻金等寄附行爲ヲ爲スノ件

第五號議案 合併ニ關スル一切ノ事項ヲ取締役會ニ一任ノ件

以 上

(裏面合併契約書御参照)

(001)

# 合併契約書

株式會社加能合同銀行（以下甲ト稱ス）株式會社加州銀行（以下乙ト稱ス）及株式會社能和銀行（以下丙ト稱ス）ハ合併ノ爲左ノ契約ヲ締結ス

第一條 甲、乙及丙ハ合併ニ因リ解散シ新銀行ヲ設立スルモノトス

第二條 新銀行ノ目的、商號、資本ノ總額、一株ノ金額及本店ノ所在地ハ左ノ通りトス

一、目的 普通銀行業務、貯蓄銀行業務並此等ニ附隨スル業務ヲ營ムコト

二、商號 株式會社北國銀行

三、資本總額 金貳千萬圓

四、一株ノ金額 金五拾圓

五、本店ノ所在地 金澤市

第三條 甲ノ本店ハ之ヲ新銀行ノ本店ト爲シ甲ノ支店、出張所、乙ノ本店、支店、出張所、丙ノ本店、支店、出張所ハ原則トシテ夫々之ヲ新銀行ノ支店、出張所ト爲スモノトス

第四條 新銀行ハ壹株額面金五拾圓全額拂込済ノ記名株式參萬四千四百六拾四株、一株ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済ノ記名株式參拾六萬五千五百參拾六株ヲ發行スルモノトス

第五條 前條ノ株式ハ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ各株主ニ對シ左ノ割合ヲ以テ交付スルモノトス

一、甲ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株

二、乙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式及新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

三、丙ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾七圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式參株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式拾貳株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾八圓拂込済株式貳拾五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式五拾六株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾五圓拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式八株

丙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株

但シ新銀行ヨリ交付ヲ受クベキ株式ノ内額面金五拾圓全額拂込済株式四拾六株ニ對シテハ丙ノ株主泊宗一ニ於テ株式ノ交付ヲ受クル權利ヲ拋棄スルモノトス

第六條 合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受クルノ外昭和十八年十月



原書不良

濟株式株式

丙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓九拾錢拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓九拾錢拂込済株式八株

丙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓九拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓九拾錢拂込済株式壹株

但シ新銀行ヨリ交付ヲ受クベキ株式ノ内額面金五拾圓全額拂込済株式四拾六株ニ對シテハ丙ノ株主泊宗一ニ於テ株式ノ交付ヲ受クル權利ヲ拋棄スルモノトス

第六條 合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受クルノ外昭和十八年十月一日以降合併實行前日迄ノ期間ニ付年六分ノ割合ヲ以テ算出シタル株式配當金ニ相當スル金額ノ交付ヲ受クルモノトス

第七條 甲、乙及丙ハ第五條ニ依リ各株主ニ制當テラレタル新銀行ノ株式拂込金額ノ八割ニ相當スル金額ヲ新銀行ノ積立金トシテ持寄ルモノトス

但シ其ノ内一部ノ金額ハ積立金トシテ表現セザルコトヲ得ルモノトス

第八條 甲、乙及丙ハ各昭和十八年四月七日現在ノ日計表ニ基キ本合併契約ヲ締結シタルモノニシテ同日以降合併實行日迄ニ於ケル資産負債及損益ノ異動ハ別ニ計算書其ノ他適當ナル方法ヲ以テ明確ナラシメ相互ニ之ヲ報告スルモノトス

第九條 甲、乙及丙ハ各其ノ資産中ヨリ預り金、借入金、其他外部ニ對スル負債額、株主ニ制當テタル新銀行株式ノ拂込金額、第七條ノ持寄積立金額、第六條ノ交付金額、役員使用人退職慰勞金及解散費用ノ合計額ニ對應スル資産ヲ控除シタル剩餘額ハ之ヲ除外財産トシテ合併實行後滿二ケ年間第十條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保シ各銀行別ニ之ヲ整理ヲ爲スモノトス

第十條 甲、乙及丙ハ新銀行ニ引續キタル資産負債中合併實行後二ケ年以内ニ於テ隠レタル瑕疵ノ發見ニ因リ生シタル損害ニ對シテハ夫々第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ之ヲ補填ニ充當シ尙不足ヲ生シタルトキハ本合併契約締結當時ニ於ケル各銀行取締役及監査役ハ夫々當該銀行分ニ對シ個人ノ資格ニ於テ連帶シテ之ヲ辨償ノ責ニ任スルモノトス

第十一條 第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有スルトキハ之ヲ株主交付金トシテ合併實行滿二ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲乙及丙ノ株主ニ對シ夫々ノ拂込金額ニ應ジ分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ引續貸出金額ノ五厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當該銀行ハ右ノ期間ニ不物合併實行滿一ケ年ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ヲ分配ヲ爲スコトヲ得

第十二條 甲、乙及丙ノ限利ノ年率ハ、五月午後一時ニ臨時株主總會ヲ開催シ本契約ノ承認、設立委員ノ選任其ノ他本合併ニ必要ナル決議ヲ爲スモノトス

第十三條 新銀行ノ設立委員ハ六名トシ甲、乙及丙ノ株主ヨリ各二名宛之ヲ選出スルモノトス

第十四條 設立委員ハ共同シテ新銀行ノ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ヲ爲スヘキモノトス

第十五條 新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十二月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ以テ合併實行日トス

第十六條 第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムヲ得サル事情發生シタルトキハ甲、乙及丙代表者ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十七條 甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行スルハ勿論他ト新ニ義務ノミヲ負フヘキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費其ノ他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互ニ承認ヲ求ムルモノトス

第十八條 本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコトニ依リ其ノ效力ヲ生スルモノトス但シ合併ニ付必要ナル大藏大臣ノ認可ヲ受クルコト能ハサルトキハ本契約ハ其ノ效力ヲ失フモノトス

第十九條 甲、乙丙何レカガ本契約締結後合併實行日迄ニ本契約ノ各條項ニ違背シ又ハ天災、不可抗力其ノ他ノ事由ニ因リ甲、乙及丙ノ財產ニ影響ヲ及ボシタルトキハ各當事者ハ大藏省ノ承認ヲ經

001933

882

原書不良

ニ因リシタル損害ニ對シテハ夫々第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ之ヲ補填ニ充當シ尙不足ツ生シタルトキハ本合併契約締結當時ニ於ケル各銀行取締役及監査役ハ夫々當該銀行分ニ對シ個人ノ資格ニ於テ連帶シテ之ヲ辨償ノ責ニ任スルモノトス

第十一條 第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有スルトキハ之ヲ株主交付金トシテ合併實行滿二ヶ年ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲乙及丙ノ株主ニ對シ夫々ノ拂込金額ニ應ジ分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ引續貸出金額ノ五厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當該銀行ハ右ノ期間ニ不適合併實行滿一ヶ年ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ヲ分配スルコトヲ得

第十二條 乙及丙ノ専任ノ役員ハ五ヶ年毎一時ニ臨時株主總會ヲ開催シ本契約ノ承認、設立委員ノ選任其ノ他本合併ニ必要ナル決議ヲ爲スモノトス

第十三條 新銀行ノ設立委員ハ六名トシ甲、乙及丙ノ株主ヨリ各二名宛之ヲ選出スルモノトス

第十四條 新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十二月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ以テ合併實行日トス

第十五條 第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムヲ得サル事情發生シタルトキハ甲、乙及丙代表者ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十六條 甲、乙及丙ノ役員其ノ他ノ使用人ハ新銀行ニ於テ原則トシテ新規採用ノ方法ニ依リ引繼グモノトス

第十七條 甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行スルハ勿論他ト新ニ義務ノミヲ負フヘキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費其ノ他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互ニ承認ヲ求ムルモノトス

第十八條 本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコトニ依リ其ノ效力ヲ生スルモノトス但シ合併ニ付必要ナル大藏大臣ノ認可ヲ受タルコト能ハサルトキハ本契約ハ其ノ效力ヲ失フモノトス

第十九條 甲、乙丙何レカガ本契約締結後合併實行日迄ニ本契約ノ各條項ニ違背シ又ハ天災、不可抗力其ノ他ノ事由ニ因リ甲、乙又ハ丙ノ財産ニ著シキ變動ヲ生シタルトキハ各當事者ハ大藏省ノ承認ヲ經テ本契約ヲ解除シ又ハ合併條件ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

第二十條 合併遂行ニ必要ナル事項ニシテ本契約ニ規定ナキモノハ合併ノ趣旨ニ反セサル限り甲、乙及丙ノ各代表者ニ於テ之ヲ協定スルコトヲ得ルモノトス

右條項ヲ契約シタル證トシテ本書參通ヲ作成シ各自其ノ一通ヲ保有ス

昭和十八年七月卅一日

株式會社 加能合同銀行

取締役頭取 米 谷 半 平

株式會社 加州銀行

專務取締役 福 井 弘 一

株式會社 能和銀行

取締役頭取 泊 宗 一

(382)

# 參考

拜啓益御清祥之段奉賀候

陳者本縣三銀行合併ニ付當銀行株主各位ニ對スル新銀行株式割當ノ件ニ關シ先般來御承認相仰居候處早速御承諾書ヲ賜リ以御蔭株主全員ノ御承諾相纏リ御援助ノ程洵ニ難有厚ク御禮申上候就而今般當銀行本店ニ於テ左記ノ通り臨時株主總會及舊株式御所有株主、新株式御所有株主毎ニ商法第三百四十七條ニヨル特別株主總會ヲ開催致度候間御出席相成度此段御通知申上候敬具

昭和十八年九月三十日

株式會社 加州銀行

取締役頭取 丸川賢二

株主各位



# 株主各位

追テ右各株主總會ノ決議ハ夫々株主ノ半數以上ニシテ資本又ハ株金總額ノ半額以上ニ當ル株主ノ出席ヲ要シ候間當日御出席相成難キ場合ハ別紙委任狀ニ豫テ御届出ノ御印章ニヨリ御記名御調印ノ上折返シ御送付相煩度候

記

## 一、臨時株主總會

日時 昭和十八年十月十五日午後一時

會議ノ目的事項

第一號議案 昭和十八年七月三十一日株式會社加能合同銀行並ニ株式會社能和銀行

ト當銀行間ニ締結セル合併契約書承認ノ件

第二號議案 合併ニ因リ新銀行設立委員二名選任ノ件

第三號議案 合併ニ際シ役員及ビ使用人ニ對スル退職慰勞金並ニ解散ニ關スル費用

支出ノ件

第四號議案 合併ノタメ解散スルニ付獻金等寄附行爲ヲ爲スノ件

第五號議案 合併ニ關スル一切ノ事項ヲ取締役會ニ一任ノ件

## 二、舊株式所有株主ノ特別株主總會

日時 昭和十八年十月十五日午後二時

會議ノ目的事項

一、當銀行ト株式會社加能合同銀行及同能和銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法

承認ノ件

(waw)

三、新株式所有株主ノ特別株主總會

001936

第一號議案

昭和十八年七月三十一日株式會社加能合同銀行並ニ株式會社能和銀行

ト當銀行間ニ締結セル合併契約書承認ノ件

第二號議案

合併ニ因リ新銀行設立委員二名選任ノ件

第三號議案

合併ニ際シ役員及ビ使用人ニ對スル退職慰勞金並ニ解散ニ關スル費用

支出ノ件

第四號議案

合併ノタメ解散スルニ付獻金等寄附行爲ヲ爲スノ件

第五號議案

合併ニ關スル一切ノ事項ヲ取締役會ニ一任ノ件

二、舊株式所有株主ノ特別株主總會

日時 昭和十八年十月十五日午後二時

會議ノ目的事項

一、當銀行ト株式會社加能合同銀行及同能和銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法

承認ノ件

三、新株式所有株主ノ特別株主總會

日時 昭和十八年十月十五日午後二時十五分

會議ノ目的事項

一、當銀行ト株式會社加能合同銀行及同能和銀行トノ合併ニ伴フ新銀行株式交付方法

承認ノ件

以上

(裏面合併契約書御参照)

(WAV)

合併契約書

株式會社加能合同銀行（以下甲ト稱ス）株式會社加州銀行（以下乙ト稱ス）及株式會社能和銀行（以下丙ト稱ス）ハ合併ノ爲左ノ契約ヲ締結ス

第一條 甲、乙及丙ハ合併ニ因リ解散シ新銀行ヲ設立スルモノトス

第二條 新銀行ノ目的、商號、資本ノ總額、一株ノ金額及本店ノ所在地ハ左ノ通りトス

一、目的 普通銀行業務、貯蓄銀行業務並此等ニ附隨スル業務ヲ營ムコト

二、商號 株式會社北國銀行

三、資本總額 金貳千萬圓

四、一株ノ金額 金五拾圓

五、本店ノ所在地 金澤市

第三條 甲ノ本店ハ之ヲ新銀行ノ本店ト爲シ甲ノ支店、出張所、乙ノ本店、支店、出張所、丙ノ本店、支店、出張所ハ原則トシテ夫々之ヲ新銀行ノ支店、出張所ト爲スモノトス

第四條 新銀行ハ壹株額面金五拾圓全額拂込済ノ記名株式參萬四千四百六拾四株、一株ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済ノ記名株式參拾六萬五千五百參拾六株ヲ發行スルモノトス

第五條 前條ノ株式ハ合併實行當日ニ於ケル甲、乙及丙ノ各株主ニ對シ左ノ割合ヲ以テ交付スルモノトス

一、甲ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株

二、乙ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株及新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

乙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式參株

三、丙ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓全額拂込済株式壹株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾七圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式參株

丙ノ額面金五拾圓内金參拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式拾貳株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾八圓拂込済株式貳拾五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式五拾六株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾五圓拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式貳株

丙ノ額面金五拾圓内金貳拾圓拂込済株式五株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式八株

丙ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株ニ對シ新銀行ノ額面金五拾圓内金拾貳圓五拾錢拂込済株式壹株

但シ新銀行ヨリ交付ヲ受クベキ株式ノ内額面金五拾圓全額拂込済株式四拾六株ニ對シテハ丙ノ株主泊宗一ニ於テ株式ノ交付ヲ受クル權利ヲ拋棄スルモノトス

第六條 合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受クルノ外昭和十八年十月

第一號議案 昭和十八年七月三十一日株式會社加能合同銀行並ニ株式會社能和銀行

001938



原書不良

但シ新銀行ヨリ交付ヲ受クベキ株式ノ内額面金五拾圓金額拂込済株式四拾六株ニ對シテハ丙ノ株主  
油宗一ニ於テ株式ノ交付ヲ受クル權利ヲ拋棄スルモノトス

第六條 合併實行當日ニ於ケル甲、乙、丙ノ各株主ハ前條ニ依リ株式ノ交付ヲ受クルノ外昭和十八年十  
月一日以降合併實行前日迄ノ期間ニ付年六分ノ割合ヲ以テ算出シタル株式配當金ニ相當スル金額ノ交  
付ヲ受クルモノトス

第七條 甲、乙及丙ハ第五條ニ依リ各株主ニ割當テラレタル新銀行ノ株式拂込金額ノ八割ニ相當スル金  
額ヲ新銀行ノ積立金トシテ持寄ルモノトス  
但シ其ノ内一部ノ金額ハ積立金トシテ表現セザルコトヲ得ルモノトス

第八條 甲、乙及丙ハ各昭和十八年四月七日現在ノ日計表ニ基キ本合併契約ヲ締結シタルモノニシテ同  
日以降合併實行日迄ニ於ケル資産負債及損益ノ異動ハ別ニ計算書其ノ他適當ナル方法ヲ以テ明確ナラ  
シメ相互ニ之ヲ報告スルモノトス

第九條 甲、乙及丙ハ各其ノ資産中ヨリ預り金、借入金、其他外部ニ對スル負債額、株主ニ割當テタル  
新銀行株式ノ拂込金額、第七條ノ持寄積立金額、第六條ノ交付金額、役員使用人退職慰勞金及解散費  
用ノ合計額ニ對應スル資産ヲ控除シタル殘額ハ之ヲ除外財産トシテ合併實行後滿二ケ年間第十條ニ定  
ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保シ各銀行別ニ之ガ整理ヲ爲スモノトス

第十條 甲、乙及丙ハ新銀行ニ引續キタル資産負債中合併實行後二ケ年以内ニ於テ隠レタル瑕疵ノ發見  
ニ因リ生シタル損害ニ對シテハ夫々第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ之ガ補填ニ充當シ尙不足ヲ生  
シタルトキハ本合併契約締結當時ニ於ケル各銀行取締役及監査役ハ夫々當該銀行分ニ對シ個人ノ資格  
ニ於テ連帶シテ之ガ辨償ノ責ニ任スルモノトス

第十一條 第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有スルトキハ之  
ヲ株主交付金トシテ合併實行滿二ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲乙  
及丙ノ株主ニ對シ夫々ノ拂込金額ニ應ジ分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ  
引續貸出金額ノ五厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當該銀  
行ハ右ノ期間ニ不拘合併實行滿一ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ガ分配ヲ爲スコトヲ得  
前項ニ依リ留保スル資産ハ新銀行ニ於テ優良ト認メタルモノニ限ル

第十二條 新銀行ノ設立委員ハ六名トシ甲、乙及丙ノ株主ヨリ各二名宛之ヲ選出スルモノトス  
設立委員ハ共同シテ新銀行ノ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ヲ爲スヘキモノトス

第十三條 新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十二月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ以テ合併實  
行日トス

第十四條 第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムヲ得ザル事情發生シタルトキハ甲、乙及丙代表者  
ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經之ヲ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十五條 甲、乙及丙ノ行員其ノ他ノ使用人ハ新銀行ニ於テ原則トシテ新規採用ノ方法ニ依リ引續ダモ  
ノトス

第十六條 甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行スルハ勿論他  
ト新ニ義務ノミヲ負フヘキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費  
其ノ他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互ニ承認ヲ求ムルモノトス

第十七條 本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコトニ依リ其ノ効  
力ヲ生スルモノトス但シ合併ニ付必要ナル大藏大臣ノ認可ヲ受クルコト能ハサルトキハ本契約ハ其ノ  
效力ヲ失フモノトス

第十八條 甲、乙丙何レカガ本契約締結後合併實行日迄ニ本契約ノ各條項ニ違背シ又ハ天災、不可抗力  
其ノ他ノ事由ニ因リ甲、乙及丙ノ財産ニ著シキ變動ヲ生シタルトキハ各當事者ハ大藏省ノ承認ヲ經  
テ本契約ヲ解除シ又ハ合併條件ヲ變更ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

第十九條 合併遂行ニ必要ナル事項ニシテ本契約ニ規定ナキモノハ合併ノ趣旨ニ反セサル限り甲、乙及  
丙ノ各代表者ニ於テ之ヲ協定スルコトヲ得ルモノトス

第二十條 右條項ヲ契約シタル證據トシテ本書參通ヲ作成シ各自其ノ一通ヲ保有ス

(204)

原書不良

ニ因リ生シタル損害ニ對シテハ夫々第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ之ヲ補填ニ充當シ尙不足トシタルトキハ本合併契約締結當時ニ於ケル各銀行取締役及監査役ハ夫々當該銀行分ニ對シ個人ノ資格ニ於テ連帶シテ之ヲ辨償ノ責ニ任スルモノトス

第十一條 第九條ニ定ムル除外財産ノ内ヲ以テ前條ニ因ル損害ノ補填ニ充當シ尙殘額ヲ有スルトキハ之ヲ株主交付金トシテ合併實行滿二ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得各銀行ノ合併實行當日ニ於ケル甲乙及丙ノ株主ニ對シ夫々ノ拂込金額ニ應ジ分配スルモノトス但シ第九條ニ定ムル除外財産ノ内各銀行ガ引續貸出金額ノ五厘ニ相當スル資産ヲ前條ニ定ムル損害ノ擔保トシテ新銀行ニ留保スルトキハ當該銀行ハ右ノ期間ニ不拘合併實行滿一ケ年後ニ於テ大藏省ノ承認ヲ得之ガ分配ヲ爲スコトヲ得前項ニ依リ留保スル資産ハ新銀行ニ於テ優良ト認メタルモノニ限ル

員ノ選任其ノ他本合併ニ必要ナル沙汰ヲ爲スモノトス

第十三條 新銀行ノ設立委員ハ六名トシ甲、乙及丙ノ株主ヨリ各二名宛之ヲ選出スルモノトス

設立委員ハ共同シテ新銀行ノ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ヲ爲スヘキモノトス

第十四條 新銀行ノ創立總會ハ昭和十八年十二月十二日ニ開催シ昭和十八年十二月十八日ヲ以テ合併實行日トス

第十五條 第十二條及第十四條ニ定メタル期日ハ已ムヲ得サル事情發生シタルトキハ甲、乙及丙代表者ノ協議ニ依リ大藏省ノ承認ヲ經テ變更スルコトヲ得ルモノトス

第十六條 甲、乙及丙ノ行員其ノ他ノ使用人ハ新銀行ニ於テ原則トシテ新規採用ノ方法ニ依リ引續ゲモノトス

第十七條 甲、乙及丙ハ本契約締結後合併實行迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行スルハ勿論他ト新ニ義務ノミヲ負フヘキ契約ノ締結、資産負債ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ取引又ハ定例外ノ經費其ノ他ノ支出ヲ爲サントスルトキハ豫メ相互ニ承認ヲ求ムルモノトス

第十八條 本契約ハ第十二條ノ甲、乙及丙ノ臨時株主總會ニ於テ各承認決議ヲ得タルコトニ依リ其ノ效力ヲ生スルモノトス但シ合併ニ付必要ナル大藏大臣ノ認可ヲ受クルコト能ハサルトキハ本契約ハ其ノ效力ヲ失フモノトス

第十九條 甲、乙丙何レカガ本契約締結後合併實行日迄ニ本契約ノ各條項ニ違背シ又ハ天災、不可抗力其ノ他ノ事由ニ因リ甲、乙又ハ丙ノ財産ニ著シキ變動ヲ生シタルトキハ各當事者ハ大藏省ノ承認ヲ經テ本契約ヲ解除シ又ハ合併條件ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

第二十條 合併遂行ニ必要ナル事項ニシテ本契約ニ規定ナキモノハ合併ノ趣旨ニ反セサル限り甲、乙及丙ノ各代表者ニ於テ之ヲ協定スルコトヲ得ルモノトス

右條項ヲ契約シタル證トシテ本書參通ヲ作成シ各自其ノ一通ヲ保有ス

昭和十八年七月卅一日

株式會社 加能合同銀行

取締役頭取 米 谷 半 平

株式會社 加州銀行

專務取締役 福 井 弘 一

株式會社 能和銀行

取締役頭取 泊 宗 一

(JPK)

昭和十八年十二月十二日

金澤支店長



考查局長殿

考查局長



理事



本日北國銀行創立總會開催、創立ニ關スル事項報告、定款承認及取締役、監査役選任ノ件其他ヲ附議可決無事終了シ會長以下互選ノ結果左記ノ通り決定致候間此段御報告申上候也

三番

重役二〇名

加能全同系 九名

加州系 七

能和系 四





|           |         |           |           |           |
|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 取         | 常       | 監         | 常         | 取         |
| 締         | 任       | 査         | 任         | 締         |
| 役         | 監       | 役         | 監         | 役         |
| (常勤)      | 査       | 役         | 査         | (常勤)      |
| 石名田成松     | 庄田喜當    | 八田幸次郎     | 本陣甚一      | 谷口與平      |
| (加州常任監査役) | (加州取締役) | (加能合同取締役) | (加能合同支配人) | (加能合同取締役) |
| 坂本貫一      | 福田正男    |           |           |           |
| (能和取締役)   | (能和取締役) |           |           |           |

001945

昭和十八年十二月十五日

金澤支店長



審査部長

殿

北國銀行創立總會本月十二日終了、重役氏名、定款  
等別紙ノ通り決定致候ニ付御參考迄ニ供貴覽候也

388





|   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |   |   |    |   |    |    |
|---|---|---|------|---|---|---|---|----|----|---|---|----|---|----|----|
| 取 | 縮 | 役 | (常勤) | 石 | 名 | 田 | 成 | 松  | (加 | 州 | 常 | 任  | 監 | 查  | 役) |
| " | " | " | "    | 谷 | 口 | 與 | 平 | (加 | 能  | 合 | 同 | 取  | 締 | 役) |    |
| " | " | " | "    | 坂 | 本 | 貫 | 一 | (能 | 和  | 取 | 締 | 役) |   |    |    |
| 常 | 任 | 監 | 查    | 本 | 陣 | 甚 | 一 | (加 | 能  | 合 | 同 | 支  | 配 | 人) |    |
| 監 | 查 | 役 |      | 庄 | 田 | 喜 | 當 | (加 | 州  | 取 | 締 | 役) |   |    |    |
| " | 查 | 役 |      | 八 | 田 | 幸 | 次 | 郎  | (加 | 能 | 合 | 同  | 取 | 締  | 役) |
|   |   |   |      | 藤 | 田 | 正 | 男 | (能 | 和  | 取 | 締 | 役) |   |    |    |

昭和十八年十二月十三日

考査向長

總裁  
副總裁  
理事



外

金澤支店長ヨリ電信譯文

北國銀行創立總會十二日昨日無事終了

會長 泊宗一 頭取 米谷半平 智格

龍和頭取

加能合同頭取



001949

取締役 加州取締役 福井弘一 加州取締役  
 寺本松次郎 能和寺塔 取締役十一名  
 櫻井久光 加州取締役  
 監査役三名 決定又

金澤支店長

392

001951

# 報 電

郵便通電

室町 099

電話

二九七 ムロマチ

ウナムニ ーニ カナザワ 七三〇〇・三〇

トウケフトムロマチレニチギン

コウサキヨクチヨウ

ヘウヌマエネダレソクシヘラホヘエシトヲヨメ(トマリソウイチ)  
 チヘア(コメタニハンペイ)キタワ(フクイカウイチ)コフメ(マ)  
 ヤマガ ミキノマツ・サクライヒサミツ・テラモトマツジ(ロウ)  
 チツソ ーケリラワテフミケリラナロロメヌヲ

SPED 13 PM 1 15



393

12.18 2.10

第十四号

二洋金

001952

二八

昭和十八年十二月十四日

金澤支店長 齋藤

局長 殿

附屬局  
12.18  
第121號

課長

北國銀行ニ於テハ去ル十二月十二日創立總會ヲ開催シ曩ニ御送付ノ定款案ヲ  
附議致候處同行ハ當分信託業務ノ兼營ヲ行ハス旁々大藏省ノ指示モア  
リタルニヨリ定款第二條中「信託業務」ノ一項ヲ削除セル外行政區劃  
ノ變更ニヨリ第三條中「石川縣石川郡金石町」ヲ削除、「金澤市（十  
六箇所）」ヲ「金澤市（十七箇所）」ト訂正ノ上可決致候間此段御報  
告申上候也



昭和十八年十二月十八日

金澤支店長



局

考查局長殿

長



石川縣下所在加能合同、加州、能和ノ三銀行ニ於テハ豫定通り本日營業時間終了後合併實行、二十日ヨリ北國銀行營業開始ノコト、相成候尙本部組織、店舗一覽表及ヒ主要店舗代表者名等ハ追而御送付可申上候右御報告申上候也



三九